

藝文協だより

第261号

令和3年3月
〒930-0096 富山市舟橋北町7-1
県教育文化会館内
☎(076)441-8635(内線123)

とやま舞台芸術祭2020 小澤眞琴プロデュース

「バレンタイン・コンサート」開催



2月14日(日)にとやま舞台芸術祭2020「バレンタイン・コンサート」(小澤眞琴プロデュース)を県教育文化会館ホールで開催しました。

バレンタイン・デーにちなみ、公演ではオペラのアリアや、クラシック、ミュージカルなど、愛にまつわる曲の数々が採り上げられました。

第1部「オーケストラと愛の歌」では、坂本和彦氏の指揮のもと、とやまレディースオーケストラ OASIS(コンサートミストレス・小澤眞琴総勢31名の演奏家と、富山県オペラ協会の4名の声楽家が出演。ドニゼッティやヴェルディ等のオペラから恋に揺れる心を歌いあげたアリアの名曲や、「エンペラーワルツ」「金と銀 ワルツ」など、愛の日に相応しい華やかな曲が披露されました。

第2部ではトロンボーン奏者の廣瀬大悟氏がナビゲーターを務め、「聖なる九重奏」ミラクル・コラボ!と題し、バレエ音楽「ロミオとジュリエット」から、ミュージカル「ウエストサイドストーリー」や映画音楽「ニュー・シネマ・パラダイスのテーマ」、イングランド民謡「スカボロー・フェア」まで、個性豊かな九つの楽器による競演が繰り広げられました。

ファイナーレでは、第1部、第2部の出演者全員がステージで一堂に会し「Time To Say Goodbye」を演奏。明日への旅立ちをうたう歌詞とともに、新たな未来への希望を込めた熱演に、鳴りやまぬ拍手のなか幕が降ろされました。

コロナ禍で鑑賞機会が限られるなか、生で見聴きする表現の豊かさや、出演者と観客とが劇場で一体となり、交歓することの貴重さを実感し、音楽の力を再確認した公演となりました。



第4回とやま世界こども舞台芸術祭(PAT2022) 2022年夏(7月下旬~8月上旬)に開催決定!

演劇、舞踊、音楽など幅広いジャンルの団体が世界から富山へ集まる!

※2020年とやま世界こども演劇祭(2021年5月予定)は新型コロナの拡大を考慮し中止いたしました。

第73回理事会 令和3年度事業計画案を承認

(一社)富山県芸術文化協会の第73回理事会を12月16日(水)にANAクラウンプラザホテル富山で開催しました。竹野博和県生活環境文化部長、水落仁県生活環境文化部参事・文化振興課長を来賓に迎え、コロナ対策として出席者を理事・監事などに限定しました。令和3年度事業計画(案)と予算(案)の審議に続いて、令和2年度の事業経過が報告され、いずれも承認されました。



令和3年度の国際交流事業は、日韓国際交流書藝展、ハンガリー美術キャンプ派遣事業などのほか、とやま国際アートキャンプ2021を3年ぶりに開催する予定です。とやま舞台芸術祭2021は、県オペラ協会発足10年を記念したオペラ「カルメン」のほか、2公演を開催予定です。

また、富山県いけばな公募展、第46回富山県青少年美術展、芸術文化指導者招へい事業、第4回とやまこども舞台芸術祭などを開催します。

受託事業としては、県民ふれあい公演、中央通アートプロムナード及びほくぎんアートギャラリー、ほくぎんアートプロムナード一番町・清水町を、共催事業としては、第76回富山県美術展、美の祭典 越中アートフェスタ2021を開催します。

また、10月31日(日)には第70回を迎える富山県芸術祭を記念し、芸文協加盟団体から選抜した団体による祝祭公演を開催します。

第39回とやま文学賞

第39回とやま文学賞授賞式を、3月24日(水)にパレラン高志会館で挙行了しました。今回は総数69編の応募の中から、菅野昭正先生(東京大学名誉教授・フランス文学者)と川本皓嗣先生(東京大学名誉教授・比較文学者)による選考の結果、2作品が「第39回とやま文学賞」に選ばれました。式では来賓に知事代理として武隈俊彦県生活環境文化部次長をお迎えし、木下晶芸文協会長より受賞者に賞状や記念品が贈られました。式の後開催された懇談会では、オンラインで選者の先生からお言葉を頂くなど、新型コロナウイルス対策を実施しての開催となりました。

『とやま文学』第39号合評会

日時 6月6日(日)
午後2時(予定)
場所 県教育文化会館
403号室
※詳細は後日ホームページ等で告知

第40回とやま文学賞 募集要項

■応募資格

・富山県在住・在勤・在学者及び本県に居住したところのある方

■規定

・文学に関する未発表の作品に限る
・4000字詰原稿用紙使用(ワープロ・パソコン原稿は20字20行打ち)
小説(戯曲含む)・評論…30枚以上50枚以内
児童文学…30枚程度
随筆…5枚から10枚程度
詩…3編以内
短歌…30首
俳句・川柳…20句

■記載事項

※応募原稿はお返ししません
部門・作品名(ふりがな)・住所(郵便番号)・氏名(ふりがな)・生年月日・年齢・電話番号・職業・経歴を付記。本県居住歴がある方は市町村を明記。
■締切(消印有効)
2021年9月30日(木)

■賞 とやま文学賞

佳作 若干名

「とやま文学賞」受賞者には正賞(熊谷喜美子制作ブロンズ像)、副賞十万円(受賞者総額)を贈呈

■送り先

〒930-10096
富山市舟橋北町7-1
(一社)富山県芸術文化協会事務局
「とやま文学賞」係あて

第39回とやま文学賞
沖山 邦子(評論)



岡峯 慶子(短歌)



佳作

柴崎 達裕(小説)
細川喜久恵(短歌)

『とやま文学』第39号発刊
・受賞作、招待作品掲載
・特集 越中八尾おわら風の盆
定価 1000円(税込)
芸文協事務局他、県内一部書店で販売
※芸文協会会員割引あり
(事務局で購入時)



令和2年度 芸術文化指導者招へい事業 (洋舞・吹奏楽・オペラ・日舞)

【洋舞部門】

(中川文可プロデューサー)

12月12日(土)～13日(日)

リモート実施(受講者は各

研究所または自宅を受講)

講師Ⅱ 杉本亮子先生

(ボディコンディショナー)

関東在住の杉本先生と県内の受講者をZoomで繋ぎ、解剖学の講義とボディ・コンディショニングの実技をご指導頂きました。骨と筋肉の関係と正しい使い方、自分の身体をきちんとコントロールする方法などを詳しく学びました。先生のお話はわかりやすく、受講者は真剣な表情で講義に聞き入っていました。



(洋舞部門) 杉本亮子先生

【吹奏楽部門】

(野替拓也プロデューサー)

12月26日(土)～27日(日)

1月5日(火)～6日(水)

各学校施設等受講希望

団体へ講師派遣

講師Ⅱ 原 浩介先生

(クラリネット奏者)

今回は原先生に県内各所の学校などの開催希望会場へ出向いて頂き、クラリネットアンサンブルのご指導をして頂きました。和やかでリラックスした雰囲気の中でも、先生と受講者は真剣に向き合い、演奏技術や表現力の向上を目指し熱心に練習に励みました。



(吹奏楽部門) 原 浩介先生

【オペラ部門】

(串田淑子プロデューサー)

2月20日(土)～21日(日)

3月27日(土)～28日(日)

富山市民芸術創造センター

講師Ⅱ 坂本和彦先生

(指揮者)

歌劇「カルメン」を題材にご指導頂きました。役の設定になりきって歌声に気持ちを含めることの大切さや、音符を気にしすぎずに日本語として会話が成り立つように歌うことなど、オペラの表現についてご指導頂きました。受講者はアドバイスを受けて練習を重ね、表現方法への理解を深めていく姿が印象的でした。



(オペラ部門) 坂本和彦先生

【日舞部門】

(西川扇博プロデューサー)

3月13日(土)～14日(日)

富山県民会館

講師Ⅱ 花ノ本 寿先生

(日本舞踊家)

日本舞踊花ノ本流十六代宗家の花ノ本寿先生をお迎えし、長唄新曲「梅の薫」を演目に、日本舞踊の表現方法を学びました。当初は昨年3月に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で1年ごしの待望の講習会となりました。受講者はお家元に教わる貴重な機会に、一つの所作の意味や動きを丁寧に確認しながら、真剣にお稽古に励みました。



(日舞部門) 花ノ本 寿先生

第3回とやまこども舞台芸術祭

「第3回とやまこども舞台芸術祭」を2月21日(日)に県教育文化会館にて開催しました。当初予定していた令和2年7月から延期し、コロナ対策のため客席収容率を50%以下に限定した上で開催でしたが、子どもたちの熱気あるステージで生の舞台鑑賞が与えてくれるエネルギーを改めて感じさせられた公演となりました。

県内19団体が出演し、邦楽、洋楽、日舞、洋舞、詩吟、民謡民舞、オーケストラ、よさこいなど、多様に富んだ舞台を披露しました。コロナ禍により舞台で日頃の研鑽の成果を発揮できる場が減ってしまった状況の中、ステージで生き生きと踊り、歌い、演奏する出演者たちに、客席からは盛んな拍手が送られました。

特別公演としてアメリカ出身のジャック・ランダル氏による影絵パフォーマンスを午前・午後の両部に上演。また、今年来日予定だったハンガリーとチェコの団体から届いた、富山の

子どもたちに向けたメッセージや作品の映像も上映されました。

例年通り「とやま国際こども美術展2020」も併催し、海外6カ国から児童画91点をホールロビーに展示しました。



スタジオ330



特別公演 影絵パフォーマンス

令和2年度 県民ふれあい公演

12月16日(水)にささくら保育園で演奏会場と保育園をオンラインで繋ぎ、リモートの洋楽公演を開催。櫻井涼子さんと佐々木ゆき子さんが出演し、クリスマスにちなんだ曲などをピアノとヴァイオリンで演奏した他、クイズ形式での楽器紹介や、保育園の先生が朗読する絵本に併せて演奏するなど、双方向で楽しいやり取りが行われました。



プロデューサー：村上麻理 ささくら保育園(リモート公演)

12月18日(金)富大附属小学校の6年生2クラスで、洋楽のキャメルピアノクインテットによるリモート公演を行いました。学校と出演者のスタジオをオンラインで繋ぎ、児童たちは教室の大型テレビで鑑賞しました。モーツァルトやラフマニノフなどクラシック曲の演奏鑑賞に加え、作曲家や楽器にまつわるクイズ、「ラデツキー行進曲」に合わせて手拍子するなど、ライブでのやりとりを交えての楽しい公演となりました。



プロデューサー：丸山美由紀 富大附属小学校(リモート公演)

12月22日(火)富山市立広田小学校では、邦楽の寺林雅楽寛社中と山崎永山さんが入善町からリモート公演を行いました。「六段の調」に加え、「千本桜」「紅蓮華」といった子どもたちに大人気の楽曲も披露され、演奏後はマイク越しにも伝わる大きな拍手が送られました。また、生徒たちから事前に募集した邦楽に関する質問に、プロデューサーが答える場面もあり、充実した公演となりました。



プロデューサー：富士原文以千乃 富山市立広田小学校(リモート公演)

第4回とやま世界こども舞台芸術祭(PAT2022)プレ公演

2022年夏に開催が決定した「第4回とやま世界こども舞台芸術祭(PAT2022)」の機運を高めるため、プレ公演を開催しました。

2月18日(木)には上市町立上市中央小学校で5・6年生が、また翌日の19日(金)には入善町民会館(コスモホール)で入善町にある全

小学校から6年生がそれぞれ公演を楽しみました。出演したOASISクインテットは、ピアノと弦楽器によるクラシック曲や人気アニメ「鬼滅の刃」の曲などを披露。稀音の会と宇月会は、長唄と歌舞伎囃子のコラボ



OASISクインテット

で「末広がり」を華々しく演奏しました。また藤間松山中と藤間松頭社中は、子どもにも親しみやすい「連獅子」と「三ツ面子守」を披露。優雅で美しい日本舞踊に、子どもたちは目を輝かせて舞台に見入っていました。終演後は温かい拍手が送られ、会場は活気に溢れていました。

また、PAT2022をPRするため、舞台芸術祭のマスクットキャラクター「PATちゃん」も登場し、公演を盛り上げてくれました。寒空の下、子どもたちの賑やかな声が飛び交いました。



藤間松山中・藤間松頭社中

2月11日(木)・祝小矢部市立津沢公民館において民謡民舞と、洋舞による公演が開催されました。最初の民謡民舞公演では豊皓会が出演し「花笠音頭」など6演目を披露。観客による手拍子もあり、和やかな雰囲気の中となりました。後半の洋舞公演では、津田バレエスタジオ、フェアリーバレエシアター、可西舞踊研究所の3団体が出演し、華やかな衣装と愛らしい踊りで観客を魅了し、観客は生のステージを存分に楽しみました。



プロデューサー：麻生豊心笑 小矢部市立津沢公民館

3月6日(土)の射水市片口コミュニティセンターの公演には邦楽の黒川邦楽院と洋舞の中川モダンバレエアカデミー、和田朝子舞踊研究所、田中バレエ研究所が出演。黒川邦楽院は「編曲砧」等3曲を披露。会場は箏と三絃の透き通った美しい音色に包まれました。洋舞3団体の公演では、可憐な衣装に身を包んだ愛らしい出演者の演技に、観客は目を細め楽しんでいました。終演後、観客からは温かい拍手が送られました。



プロデューサー：富士原文以千乃 射水市片口コミュニティセンター

3月11日(木)は教育文化会館の集会所から新庄さくら保育園へリモートで公演を行いました。ソプラノとサクソフォン、フルート・オカリナ、ピアノで構成された洋楽団体「フェリーチェ」が、「となりのトトロ」や「トルコ行進曲」などポピュラーで明るい楽曲を中心に13曲を披露。園児たちはスクリーンに映る女性音楽家たちが奏でる華やかな曲に合わせて、一緒に歌ったり踊ったりして元気いっぱい楽しみました。



プロデューサー：村上麻理 新庄さくら保育園(リモート公演)

令和2年度 いけばなシンポジウム

令和2年度いけばなシンポジウムを、2月7日(日)に富山県教育文化会館ホールで行いました。シンポジウムは3部構成で、第1部は

池坊中央研修学院講師・古川浩孝氏による生け込み実演、第2部は高岡市万葉歴史館館長・坂本信幸氏による基調講演(テーマ「万葉」と植物)、第3部は彫刻家の熊谷喜美子氏(芸文協会副会長)が坂本氏、古川氏と登壇し、鼎談を行いました。第1部生け込み実演では、

ダイナミックな作品が繊細な手さばきで生けられ、ユーモアを交えたお話も加わり、見る人を惹きつけていました。



第2部基調講演では、万葉歌に詠まれている植物の解釈の重要性や、現代の私達にもなじみある植物が詠

まれていたことなど、令和の時代に注目を集め続ける万葉集の新しい一面を知りました。

第3部鼎談では、学術、華道、美術と異なる分野の第一線でご活躍中の登壇者3名が、万葉歌の詠み手と通じる創作の苦楽をときおり笑いを交えながらお話しされました。

当日収録されたシンポジウムの様子は、当協会HPで動画を配信中です。



富山県芸術文化協会 YouTubeチャンネル開設!

各加盟団体が作成した初心者向けの解説動画や、文協主催事業の公演映像などがご覧いただけます。ぜひご利用ください!



※お気づきの点がありましたら、info@pat.or.jpまでご連絡ください。

およろこびの人々

- (令和2年12月以降受賞順、敬称略、記名順不同)
- 令和2年度地域文化功労者表彰 文部科学大臣表彰
 - 秋中 幸雄
 - 文化庁長官感謝状
 - 藤森 兼明
 - 池田 瑛子
 - 第15回北陸現代詩人賞 大賞
 - 上田 洋一
 - 第68回富山新聞文化賞
 - 島田 勝田
 - 第51回富山新聞芸術賞
 - 齋藤 尤鶴
 - 第57回創文展21世紀賞
 - 長坂 石泉

もよおしの記録と案内

- 令和2年度善男善女生涯現役川柳大会
2020年4月1日(水)
- 2021年3月31日(水)
富山県民共生センター
サンフォールテ(表彰式)
- 第40回富山県写真連盟展
2月12日(金)~2月14日(日)
富山県民会館ギャラリーA、B
- 第18回フォトグループ「華」作品展
3月6日(土)~3月14日(日)
滑川市立博物館3階 企画展示室
- 富山県社会人吹奏楽連盟交流演奏会
3月6日(土) オーバード・ホール
- 学校法人富山音楽院創立70周年記念コンサート(第70回定期コンサート)
3月14日(日)
- 富山県教育文化会館ホール
公益財団法人日本民謡協会 令和2年度「民謡民舞富山県連合大会」
3月21日(日) 砺波市文化会館
- 第41回全国万葉短歌大会
3月下旬~10月1日(金)
高岡市万葉歴史館(表彰式)
- 草月会富山県支部三創会「いけばな展」
4月10日(土)~4月11日(日)
富山県高岡文化ホール
- 第63回清深社現代書展
4月16日(金)~4月18日(日)
富山県民会館 地下展示室
- 高岡御車山祭協賛 第27回高岡茶会
4月17日(土)~4月18日(日)
雲龍山 勝興寺
- 第50回記念富山県春の短歌大会
4月18日(日) 富山県高岡文化ホール
- 桐朋アカデミー・オーケストラ
第62回定期演奏会
4月24日(土) オーバード・ホール
- 第67回富山県女流書道展
5月14日(金)~5月18日(火)
富山大和6階ホール
- 桐朋学園大学文化賞
桐朋アカデミー・オーケストラ コンチエルト
実習公開授業 第1日、第2日
5月15日(土)~5月16日(日)
富山市民芸術創造センター
リハーサル室
- 池坊富山支部創立80周年・青年部
創立40周年記念いけばな池坊展
5月15日(土)~5月16日(日)
富山県民会館 地下展示場
- 創立80周年記念創立元展 富山巡回展
5月20日(木)~5月25日(火)
富山県民会館 美術館
- 第46回武蔵野音楽大学同窓会
富山県支部研究演奏会
5月23日(日)
富山県教育文化会館ホール
- 第27回富山県いけばな作家協会展
5月28日(金)~5月30日(日)
富山大和6階ホール
- 富山大学医科薬科管弦楽団
第44回定期演奏会
5月29日(土)
アイザック小杉文化ホール
- 桐朋アカデミー・オーケストラ
第63回定期演奏会
6月5日(土) オーバード・ホール
- 第22回草月四季の会いけばな展「場にいるpart III」
6月5日(土)~6月6日(日)
チューリップ四季彩館
- 令和3年度富山千吟会吟道大会
6月6日(日) 射水市大門総合会館
- デユエツ・Stratton Distances
7月3日(土) 北日本新聞ホール
- 第47回富山独立書展
7月9日(金)~7月11日(日)
富山県民会館美術館
- 桐朋アカデミー・オーケストラ
特別演奏会
9月18日(日) オーバード・ホール
- 桐朋学園大学文化賞 桐朋アカデミー・オーケストラ 協奏曲のひとつ
10月23日(土) オーバード・ホール
- 桐朋アカデミー・オーケストラ 第49回室内楽定期演奏会 第1夜、第2夜
11月4日(木)~11月5日(金)
富山市民プラザ アンサンブルホール
- 桐朋アカデミー・オーケストラ
特別演奏会
11月14日(日) オーバード・ホール
- 富山国際ダンスコンペティション
11月20日(土)~11月21日(日)
新川文化ホール